

森林の仕事ガイダンス

11月3日(祝)、東京国際フォーラムで森林・林業に関心を持つ新卒・転職・就職氷河期世代の方などを対象とした就業相談会「森林の仕事ガイダンス2020」が開催されました。

「森林の仕事ガイダンス」は、「緑の雇用」新規就業者育成推進事業の実施主体である全国森林組合連合会が、新たな林業の担い手を確保・育成する取組として行っている就業相談会です。「緑の雇用」事業を通じて、平成15年度から令和元年度までの17年間に約2万人が新たに就業しています。

今年は東京・名古屋・大阪・福岡の4都市で開催され、1月には東京で2回目の開催を予定しています。会場では、都道府県のブースなどが設けられ、現地での生活や林業に関する情報、就業までの流れについての説明や相談が行われています。来場には事前予約制とし、^{ついでに}衝立や体温測定などの感染症対策やWEB相談が導入されています。

緑の雇用



タブレットによる
オリエンテーション

web相談ブース



全国森林組合連合会による総合相談ブース

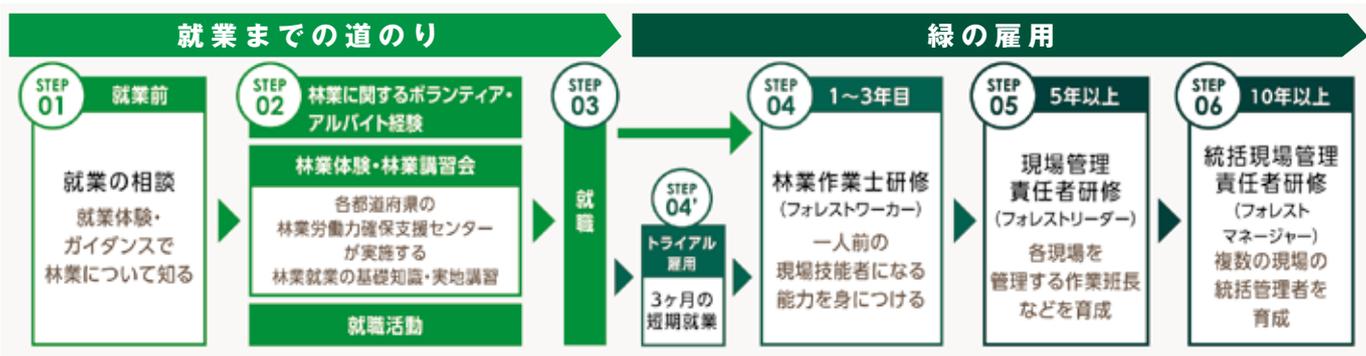


都道府県相談ブース



林業従事者の生活などを紹介した展示パネル

林業就業の流れ



フォレストワーカーから一言

増田 雄太さん(栃木県)

私にとって、林業は中学生の頃から憧れていた仕事です。高校時代に観た映画『WOOD JOB!』をきっかけに本格的に志すことを決め、大学を卒業してすぐに林業の職に就きました。今では特殊伐採などの難しい作業を行うこともあり、計算通りに伐採できた時に達成感を覚えています。平日は大好きな林業で汗を流し、休日は趣味の漂流釣りを楽しむ。そんな充実した毎日を送ることができて本当に幸せです。林業は、とにかくカッコいい仕事です。少しでも興味がある方は、ぜひYouTubeなどで林業の仕事を見て、素晴らしさを知ってほしいと思います。



中井 歩さん(千葉県)

以前はアパレル業界に勤めていましたが、ずっと憧れていた田舎暮らしを実現させようと、林業への転職を決意しました。昨年、千葉県が台風によって大きな被害を受けた際には、被害木や民家の近くに立つ木の処理をする親方のサポートをするなど、困っている人のために働くことができました。その時、不安な気持ちを抱いていた多くの方が安心した表情になっていくのを見て、この仕事に誇りを感じ、林業に携わって本当によかったと思いました。最初は、体力に自信のない私に林業が務まるか不安でしたが、力がなくてもできることはたくさんあるので、女性でも諦めないでほしいと思います。



出展者の声

一般財団法人長野県林業労働財団
理事長 山口勝也さん



今回の「森林の仕事ガイダンス」は、コロナ禍での開催ということですが、人が集まるか心配していましたが、ふたを開けてみれば多くの方が来場され嬉しく思っています。長野県の話をはじめ、段階的な就業支援を用意している点や県内で行われる林業の共同就職説明会の紹介、長野県の林業大学校をおすすめするなど、その人が求めている情報を提供するという意識があります。また林業のいいところばかりでなく、デメリットもしっかり伝えることで、実際に働いた際のイメージが持ちやすくなるように心がけています。

本年度は同ガイダンスが計5回開催される予定ですが、すでに終了した名古屋と大阪では、来場された多くの方に林業の魅力について話しました。残りのガイダンスでもしっかりと長野県の林業をアピールするつもりです。そして、多くの方に来年2月に行われる長野県内の共同就職説明会にご参加いただき、現場で働く人々の生の声を直接聞いてもらえればと期待しています。



第2回 東京会場

開催日: 2021年1月30日(土)
場所: 新宿NSビル NSイベントホール(大ホール)
1部: 11時~14時
2部: 14時~17時 ※入れ替え制

予約受付開始日 1月4日(月)10:00
予約受付終了日 1月28日(木)20:00

<https://www.ringyou.net/recruit2021/>

